/\-	工業高等	等專門学校	開講年度	令和02年度 (2	2020年度)		高度専門特別講義 メトリクス)	、
科目基礎	楚情報							
科目番号 0205					科目区分	専門 / 必修	<u> </u>	
授業形態					単位の種別と単位	数 学修単位:	2	
開設学科 プロシ		プロジェ			対象学年 専2			
		前期			週時間数	週時間数 2		
担当教員		平野 旭						
到達目標	 票							
自然界のII 1. バイス 2. バイス	が 膨大な情報 オメトリク オメトリク	クスの利用分野 クス分野で用し	骨および動向につい いられる各種センサ	された各種情報処理 て説明ができる。 および計測法の特徴 ・アルゴリズムを理	マを理解し、説明がて	∵きる。		
ルーブリ	ノック							
			理想的な到達し	バルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安	ੜੋ
評価項目1			利用分野および動向について説明 が適切にできる		利用分野および動向について説明 ができる		利用分野および動向について説明 ができない	
評価項目2			用いられる各種 法の特徴を理解 できる	重センサおよび計測 解し,説明が適切に	用いられる各種センサおよび計測 法の特徴を理解し,説明ができる		用いられる各種センサおよび計測 法の特徴を理解し,説明ができない	
評価項目3			用いられる情報 ズムを理解し, にできる	吸理法・アルゴリ 説明と活用が適切	用いられる情報処理法・アルゴリ ズムを理解し,説明と活用ができ る		用いられる情報処理法・アルゴリ ズムを理解し,説明と活用ができ ない	
学科の発	到達目標	頭目との関	 関係					
			3 	C)				
教育方法			3 11 371311 (0)					
概要		多様な生 信号処理 る。【H	:物のデータから植 型」を基礎として、 29年度は開講しな	物生産や環境保全に あら季節にたに多変 い】	有用な情報を読み取 量解析手法などを学	(るための重要な学びつつ、演習を)	\る「生体認証技術」 対問である。本科で学 踏まえて実践的に基礎	学習してきた「 性技術を習得す
授業の進め	め方・方法	講義およま 調査課題	こび授業中の演習を	基本とする。この科	目は学習単位科目の)ため、最新の情報	B処理技術とその活用	また関する事前
		り、習熟	は度を確認する。	省とし(信号処理法	に関する自学自習課	題を課す。その内	容の発表とディスカ	コッションによ
		り、習熟	快度を確認する。	省とし(信号処理法 課題演習およびプレ	に関する自学自習課	関を課す。そのP	内容の発表とディスカ 	コッションによ
	———— ≣ī	り、習熟	快度を確認する。		に関する自学自習課	関を課す。そのP	内容の発表とディスカ 	ブッションによ
	<u> </u>	り、習熟講義のみ	快度を確認する。 →ならず、授業中の -		に関する自学自習課 ゼンテーション課題 	題を課す。その内	内容の発表とディスカ 	ブッションによ
	国	関 関 関 関 関 関 関 関 関 関	独度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容		に関する目学目習課 ゼンテーション課題	選を課す。その内 も課す予定である 過ごとの到達目標	9容の発表とティスたる。	コッションによ
	1	り、習熟 講義のA 週 1週	快度を確認する。 →ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ	題を課す。その内 もまます予定である 過ごとの到達目標 「イオメトリクス	内容の発表とティスカ る。 の活用分野と動向を記	ガッションによ
		り、習熟 講義のA 週 1週 2週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ	題を課す。そのが も課す予定である 週ごとの到達目標 「イオメトリクスの 生体認証錠とその	9容の発表とティスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で	ブッションによ 説明できる できる
		り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週	快度を確認する。 →ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ 生	題を課す。そのが も課す予定である 週ごとの到達目標 「イオメトリクス」 生体認証錠とその 「イオメトリクス」	内容の発表とディスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい	ブッションによ 説明できる できる
	封 1stQ	り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	問を課す。そのが も課す予定である 動ごとの到達目標 「イオメトリクス」 生体認証錠とその 「イオメトリクス」 類認証技術につい	の容の発表とディスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる	ブッションによ 説明できる できる
		り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ ク き り ま	題を課す。そのが もまます予定である。 過ごとの到達目標 バイオメトリクスの 生体認証錠とその バイオメトリクスが 質認証技術につい 旨紋認証技術につい	内容の発表とティスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
		り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス "	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ ク き 月 き	題を課す。そのが も課す予定である。 過ごとの到達目標 「イオメトリクス」 生体認証錠とその 「イオメトリクス」 類認証技術につい 指紋認証技術につい と来認証技術につい と来認証技術につい	内容の発表とディスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画		り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス "	課題演習およびプレ	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ き リ き ナ き ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	題を課す。そのが を課す予定である。 過ごとの到達目標 ベイオメトリクスの 生体認証錠とその ベイオメトリクス 類認証技術につい 皆紋認証技術につい 光彩認証技術につい 後所認証技術につい 後所認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい を解認証技術につい	内容の発表とディスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画		り、習熟 講義のA 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス " "	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	題を課す。そのか 記を課す予定である。 過ごとの到達目標 ベイオメトリクス・ 性体認証錠とその・ ベイオメトリクス・ 類認証技術につい 指紋認証技術につい 後来認証技術につい 後来認証技術につい 多所認証技術につい その他の認証技術	内容の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画		り、習熟 講義のA	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス " "	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ ら き り き り う 青 っ る も る も る も る も る も る も る も る も る も る	思を課す。そのが 記を課す予定である 過ごとの到達目標 ベイオメトリクスの 主体認証錠とそのが (イオメトリクスの 類認証技術についい 指紋認証技術についい と彩認証技術についい との他の認証技術についる をの他の認証技術についる との他の認証技術にいる との他の認証技術にいる との他の認証技術にいる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他の記述といる との他のとの他のとのも との他のとのも との他のとのも との他のとのとのも との他のとのとのも との他のとのとの他のとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのと	の答の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画		り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス " " " " " 情報処理法の演習	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ リ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	問を課す。そのが 同でとの到達目標 「イオメトリクス」 性体認証技術につい 指紋認証技術につい 指紋認証技術につい 指紋認証技術につい を所認証技術につい を所認証技術につい を所認証技術につい を所認証技術につい を表記を表してい を表記を表してい を表記を表してい を表記を表してい をまたい を表してい をまたい をまたい を表してい をまたい	の答の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画	1stQ	り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス " " " 情報処理法の演習	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リ ノ ク ク ク う も う う も う う も う も う も う も う も う	間を課す。そのの 同ごとの到達目標 「イオメトリクス」 性体認証なとその 「イオメトリクス」 類認証技術につい 自紋認証技術につい 自紋認証技術につい 自然認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい との他の認証技術につい をの他の認証技術にない はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは	の答の発表とティスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる こついて説明できる ついて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画		り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	快度を確認する。 かならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス パイオメトリクス " " " 情報処理法の演習 "	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習講 ゼンテーション課題	題を課す。そのの 記も課す予定である 週ごとの到達目標 (イオメトリクス) 性体認証錠とその (イオメトリクス) 類認証技術につい 指紋認証技術につい 治が認証技術につい 治所認証技術につい 治別にある。 自己組織化マップ 泉形判別法が使え。	内容の発表とディスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる ついて説明できる ついて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画	1stQ	り、習熟 講義のA 記週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス " " " 情報処理法の演習 "	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題	題を課す。そのが 記を課す予定である。 過ごとの到達目標 (イオメトリクス: 資認証技術につい 自紋認証技術につい 音紋認証技術につい 音が認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい を配けるがでした。 を配けるがでする。 はは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	内容の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術について説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる について説明できる について説明できる について説明できる について説明できる ことのできる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画	1stQ	り、習熟 講義のA 記週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス パイオ ・ パイオ ・ パイカ ・	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題	題を課す。そのの 記も課す予定である 週ごとの到達目標 (イオメトリクス) 性体認証錠とその (イオメトリクス) 類認証技術につい 指紋認証技術につい 治が認証技術につい 治所認証技術につい 治別にある。 自己組織化マップ 泉形判別法が使え。	内容の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術について説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる について説明できる について説明できる について説明できる について説明できる ことのできる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画	1stQ	り、習熟 講義のみ 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス パイオ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	思を課す。そのの 記も課す予定である。 過ごとの到達目標 「イオメトリクス」 主体認証技術につい 指紋認証技術につい 指紋認証技術につい 争脈認証技術につい 争脈認証技術につい 争脈認れが使える。 主成分分析化が使える。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	内容の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる について説明できる について説明できる していて説明できる していて説明できる していて説明できる していて説明できる していて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス パイオ パイオ パイオ パイオ パイオ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ	課題演習およびプレの活用分野と動向の活用分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	題を課す。そのが 記を課す予定である。 過ごとの到達目標 (イオメトリクス: 資認証技術につい 自紋認証技術につい 音紋認証技術につい 音が認証技術につい をの他の認証技術につい をの他の認証技術につい を配けるがでした。 を配けるがでする。 はは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	内容の発表とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる について説明できる について説明できる していて説明できる していて説明できる していて説明できる していて説明できる していて説明できる	ブッションによ 説明できる できる
授業計画	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のA 記週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	接を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス パイオ パイオ パイオ パイオ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習講 ゼンテーション課題 ・	思を課す。そのの 記も課す予定である。 過ごとの到達目標 「イオメトリクス」 主体認証技術につい 指紋認証技術につい 指紋認証技術につい 争脈認証技術につい 争脈認証技術につい 争脈認れが使える。 主成分分析化が使える。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の答の発表とティスカス。の活用分野と動向を記他分野について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できることではいて説明できることで使える。シンが使えるシンが使える。シンが使える。	説明できる できる いて説明できる
受業計画 前期 モデルニ 分類	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	快度を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス パイオ パイオ パイオ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ パイカ	課題演習およびプレの活用分野と動向の活用分野の基本技術	に関する目学目習講 ゼンテーション課題 ・	思を課す。そのの 記も課す予定である。 過ごとの到達目標 「イオメトリクス」 主体認証技術につい 指紋認証技術につい 指紋認証技術につい 争脈認証技術につい 争脈認証技術につい 争脈認れが使える。 主成分分析化が使える。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の答の発表とティスカス。の活用分野と動向を記他分野について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できることではいて説明できることで使える。シンが使えるシンが使える。シンが使える。	ブッションによ 説明できる できる
受業計画 前期 モデルニ 分類	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のみ 調 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 グチュラムの	接度を確認する。	課題演習およびプレの活用分野と動向の活用分野の基本技術の野の基本技術を関する。	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	思を課す。そのの 記も課す予定である 過ごとの到達目標 「イオメトリクス」 「経験では、 「経験では、 「はないでは、 「はないでは、 「はないでは、 「はないでは、 「はないでは、 「な、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	内容の発表とティスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できる。いて説明できる。こついて説明できるるシンが使えるる。シンが使える。シンが使える。シンが使える。	がい できる できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる
授業計画 前期 一・デルコ 分類価割合	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のA 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 75週 10月 10月 10月 10月 10月 10月 10月 10月 10月 10月	接を確認する。 対ならず、授業中の 授業内容 ガイダンス バイオメトリクス バイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス パイオメトリクス の演習 パー の演習 パー の演習 の演習 のでと到途 学習内容 発表	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術 華目標 学習内容の到達目 相互評価	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ	問を課す。そのの 同でとの到達目標 でイオとの到達目標 でイオといりクスで 質認認証証技術につい 自然認証証技術につい を不可能を表す。 を不可能を表す。 を表する。 をままる。 をまる。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	の答の発表とティスカ る。 の活用分野と動向を記 他分野について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できることのいて説明できるる。 しついて説明できるる。 しついて説明できる。 はついて説明できる。 はこついて説明できる。 はここの代表になる。 はこの代表になる。 はここの代表になる。 はここの代表になる。 はここの代表になる。 はここの代表になる。 はここの代表になる。 はこの代表になる。 はこの代表になる。 はこの代表になる。 はここの代表になる。 はこの代表になる。	プッションによ 説明できるできる ハて説明できる
授業計画 カラック アン・カ アン・カ アン・カ アン・カ できる アー・ボール かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のA 調講義のA 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 75週 70	接度を確認する。	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術 華目標 学習内容の到達目 相互評価 0	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の活用分野と動向を記 他分野について説明で 分野の基本技術につい て説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる いて説明できる について説明できる のして説明できる か使える る シンが使える る シンが使える 明 単立へ その他 0	ボッションによ 説明できる できる いて説明できる いて説明できる
授業計画 前期 デカ類価割合 学の能基礎的能力	1stQ 2ndQ	り、習熟 講義のA 調理 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 75週 分野	接度を確認する。	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ 生 ノ 彦 弟 う 青 吉 名 会 音 目 監 を 生 生 音	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の答案とティスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいで説明できる。 いて説明できる。 について説明できる。 が使える。 シンが使える。 シンが使える。 リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が明できるできるいて説明できる いて説明できる いて説明できる
授業計画 カラック アン・カ アン・カ アン・カ アン・カ できる アー・ボール かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん	1stQ 2ndQ コアカリ 計合 カ :	り、習熟 講義のA 調講義のA 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 75週 70	接度を確認する。	課題演習およびプレ の活用分野と動向 分野の基本技術 華目標 学習内容の到達目 相互評価 0	に関する目学目習課 ゼンテーション課題 リノ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の答案とディスカ の活用分野と動向を記 他分野について説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるいて説明できるといいて説明できるとしいて説明できる。 こついて説明できる。 こいでは、こいでは、こいでは、こいでは、こいでは、こいでは、こいでは、こいでは、	プッションによ 説明できる できる ハて説明できる して説明できる